

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-0861
 住 所 神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号
 氏 名 ナステック株式会社
 代表取締役 大田富貴 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ナステック株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区小島町4番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	金属の精錬など		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	7,065	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ~ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

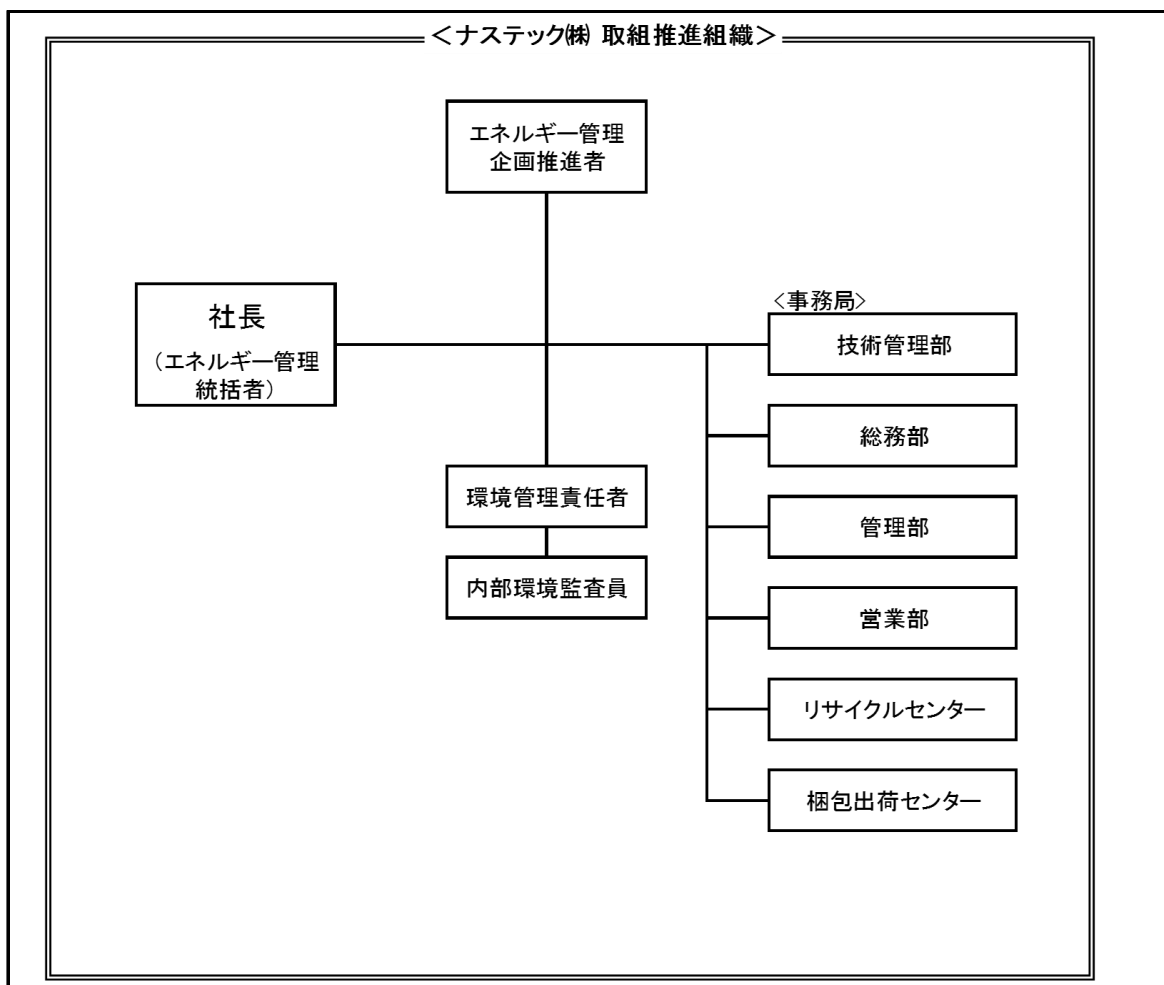
ナステック㈱は日本冶金工業㈱川崎製造所生産活動の一翼を担い、その副産物の加工、梱包用製品の製造及び梱包出荷サービスを主業務とした生産活動を行う中で、ISO14001環境マネジメントシステムの要求事項に適合した運営・継続的改善を行うことにより、下記の環境保全活動に努め社会に貢献することを目指す。

1. ステンレス特殊鋼製造の副産物から有用メタルを分離回収する。更に徹底した資源の有効活用と産業廃棄物の抑制に努める。
2. 生産活動にあたっては、環境汚染の予防と関連する法規制やその他の要求事項を遵守するとともに、省エネルギー活動を推進し、温室効果ガスの削減への取り組みを行う。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

- 1) 期毎に省エネルギー活動・温室効果ガス削減の計画と目標を設定し方針管理展開表を作成する。
 - 2) 「社長診断」及び「品質環境管理委員会」で各 1 回/月、省エネルギー活動・温室効果ガス削減の進捗確認及び評価を行う。
 - 3) その評価により必要に応じ、省エネルギー活動・温室効果ガス削減の計画と目標の見直しを行う。
- 以上の基本方針により、P D C Aサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2021 年度	
目標	年度	2024 年度	
基準	排出量	(実) 15,707 (調) 15,619 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 15,615 (調) t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削減量		(実) 92 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 92 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 0.6 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		生産数量	
原単位の単位		t-CO ₂ /t	
基準年度の値		1.947	
目標年度の値		1.926	
削減率		1.1 %	%

ウ 目標設定に関する説明

<p>温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、排出量原単位の値を3ヵ年で1%以上削減することを前提に目標を設定した。 特に温室効果ガス総排出量の83%を担う還元炉工場において、操業を改善することで省エネルギー化及び温室効果ガスの発生低減を進め、目標達成を目指す。</p>

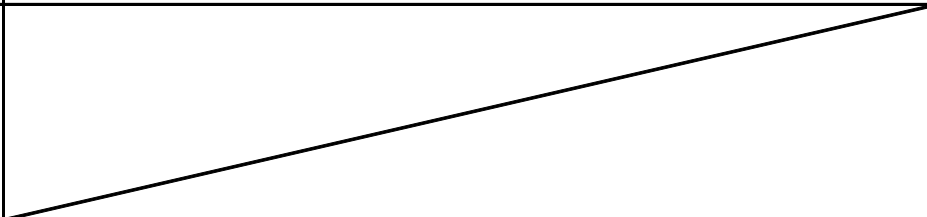
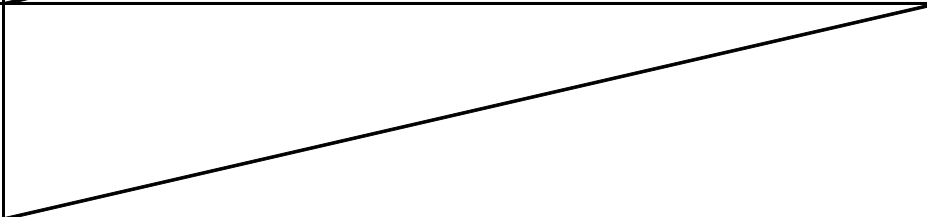
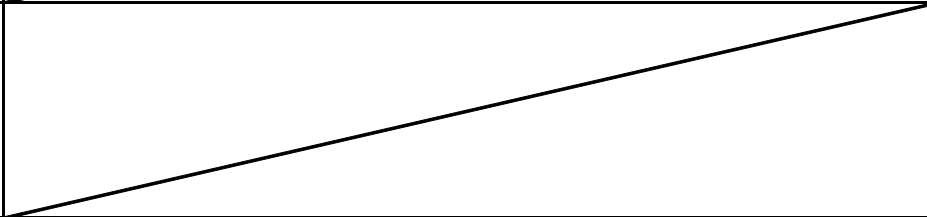
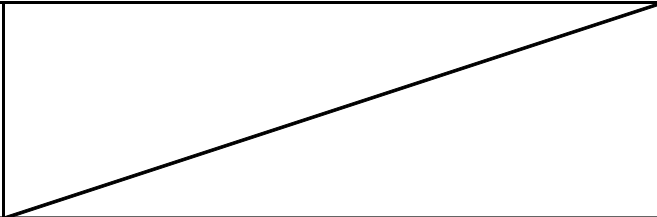
(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>○照明設備の運用管理 照明設備の新設、更新にあたっては極力LED化することで省エネを図る。</p> <p>○その他の電気の使用に係る管理 原料の前処理乾燥強化により電力原単位の低減を図るとともに、電力低減量の管理強化を行う。</p> <p>○還元炉の操業改善 1kg当り4000kcalの発熱量を持つ低価格Si源を使用し、電力使用量の低減を図る。</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	○	使用設備は親会社からの貸与のため自社独自の対応は困難である。
風力	○	使用設備は親会社からの貸与のため自社独自の対応は困難である。
バイオマス	○	使用設備は親会社からの貸与のため自社独自の対応は困難である。
未利用エネルギー	○	使用設備は親会社からの貸与のため自社独自の対応は困難である。
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	1) 低CO2川崎ブランド認定製品（製品名：ナスフィラー）を販売 石灰石粉と比較し、原材料調達段階・生産段階で約70%削減 2) 川崎メカニズム認証を取得（製品名：ナスフィラー） 石灰石粉と比較し、原材料調達段階・生産段階で約70%削減
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1) 還元炉ダストの工場内リサイクル推進による廃棄物減量 ア 輸送に係るCO2の削減 イ 廃棄物リサイクル工程でのCO2削減 (2) 還元炉ダストの吸湿防止対策による質量低減 ア 輸送に係るCO2の削減 (3) 構内発生廃棄物中の紙及びプラスチックの分別実施し、リサイクル化によるCO2の削減
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	15,707	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

7,065	KL
-------	----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
ナステック株式会社	川崎市川崎区小島町4番2号	15,707 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂